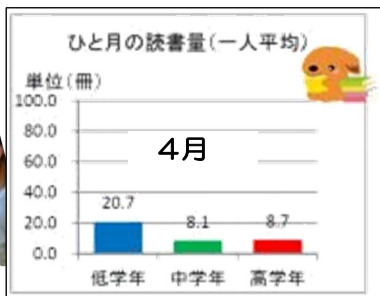


こんな本、読みたいな！

学校図書館の書籍を充実するため、育友会予算から図書の購入をさせていただくことになりました。予算内で、より多くより読みたい図書を選ぶため、今回は、子供たちによる「図書選定選挙」を行いました。子供たちが、見本の図書を手に取り、読んでみようと思う図書に付箋を貼り付けます。そして、その付箋の数や本の種類、低中高学年の発達段階を考慮して、最終的に購入図書を選びます。5月中旬1階廊下に並んだ図書に、子供たちの目がきらきら光っていました。6月中には、図書室に並べられるようにしたいと思います。



4月の子供たちの読書量(学校での読書冊数+貸出冊数)は、全校合計冊数で約1100冊でした。なお、昨年度の2ヶ月分の読書量を4月1ヶ月で読み終えている学年もありました。

また、1週間当たりの読書量は一人あたり平均4冊でした。(図書館教育部)



すきま時間とすきま空間を生かした、花いっぱい活動

今年も、各学年、一人一鉢の花の世話をします。1年生(朝顔)、2年生から6年生(ペゴニア)さらに希望者のみですが、体育館脇の花壇に、向日葵(勝手に、ライオン・フラワーと名前を付けました)を植えました。「ロシア・ヒマワリ」という品種で、約2.5mほどの高さに育つものです。一人で世話をするもの、ペアで育てたり、学級で育てたりするものもあります。

須田小学校では、登下校時のちょっとした時間(すきま時間)を使った花いっぱい活動を続けていきます。意外に自然(生き物、土)と関わる機会が少ない子供たちです。意図的にしる、自然に触れる機会や空間を創っていきたいと思います。



現在、11人と1学級が参加しています。

SASUGADA でっかいぞ！
ひまわり大会！

高さ2m以上に育つ、ビックなひまわりを育てませんか？



安心安全な環境作りのために

～ 1%の安心安全の向上につなげる積み重ね ～

新潟市の下校中の小学生に起こった痛ましい事件がまだ記憶に新しい今月末、今度は神奈川県登校中の小学生に、強い憤りを感じる事件が発生しました。昨年度から、子供たちが安全安心に学習したり生活したりできるための取組を次の3点を中心に取り組んできています。育友会や地域の関連団体とも連携しながら、たとえ1%の安全性の向上でも、着実に積み重ね、子供たちの安全の向上アップにつなげていきます。

学校が抵抗性

子供の「抵抗性」を高める

態度をはっきりする

はっきりした声や態度は、不審者を近付けないメッセージです。

叱られてばかりいて自信のない子供は、そんな態度はとれません。

学校では、「はい」「わかりました(わからないので、教えてください)」「ありがとうございます」等、はっきりした言い方ができる、自己肯定感を高める授業作り等に取り組んでいます。

家庭と監視性

見られている「監視性」を高める

いつも見守る

隙のない安全空間づくりのため、

「一人登下校区間100m以内」を目指して、スクールバス運転手と相談しながら、バスの乗降場所を4月に変更しました。気になる地点には、保護者のお迎え等で対応しています。

「見守る」ことは、一緒にいることだけでなく、「気持ち」も重要だと考えます。例えば、家族の居場所を意識して生活することは、異変の未然防止や早期発見にもつながります。

「〇〇に行ってきます」「ただいま」等を自然に言う、家族間で所在を明確にする習慣づくり今後ともお願いします。

地域と領域性

入りにくい「領域性」を高める

入りにくい環境をつくる

「不審」なことが生まれにくい環境づくりにも取り組んでいます。

例えば、「どんなところに危険があるのか」知り、「近付かない」「一人で歩かない」等の対応とともに、育友会、安全・安心推進協議会等とも情報共有するとともに、相談しながら一つ一つ進めていきます。

一昨年度の地域奉仕活動 2017.6.13



昨年度の防犯訓練 2018.6.19

今後の取組

- 5/31 小中連携奉仕活動の際の安全確認
- 6/11 不審者対応避難訓練
- 6/20 地区懇談会での情報共有
- 地域学習での指導(生活科総合学習)

※保護者や地域と情報の共有を進めるために、メール配信の活用も続けます。
※「安心安全な環境づくりのために」(配布済)をご確認ください。